



| | |
|--------------|---|
| Title | 臨床死生学・老年行動学分野 活動報告 |
| Author(s) | |
| Citation | 生老病死の行動科学. 2016, 20, p. 45-54 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/57148 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

臨床死生学・老年行動学分野 活動報告

1. 研究会報告

本研究室では、月1回第1水曜日に中之島キャンパスにて研究会を開催している。平成27年度は、下記の通り、7回研究会を開催した。

第34回 2015年4月8日

話題提供者 豊島 彩 (大阪大学大学院人間科学研究科 博士後期課程)

テーマ アメリカの教育システムと老年学を学ぶ学生の現状

第35回 2015年5月13日

話題提供者 吉田 甫 (立命館大学)

テーマ 加齢に伴う高齢者の発達：介入研究からの新しい視点

第36回 2015年6月3日

話題提供者 樺山 舞 (大阪大学医学系研究科)

テーマ 地域保健における介護予防と健康増進

第37回 2015年7月1日

話題提供者 島田 千穂 (東京都健康長寿医療センター研究所)

テーマ 高齢者介護施設における看取りケア

第38回 2015年10月7日

話題提供者 山中 克夫 (筑波大学)

テーマ 認知症の人のための心理・社会的介入に関する研究

第39回 2015年11月11日

話題提供者 熊田 孝恒 (京都大学)

テーマ 加齢に伴う認知機能の低下と日常生活行動

第40回 2015年12月2日

話題提供者 広瀬 信義 (慶應義塾大学)

テーマ 百寿者から超百寿者調査へ—ヒト長寿科学のご紹介—

2. 学位論文一覧

平成 27 年度は、下記の通り、学部生 3 名、博士後期課程大学院生 2 名、博士後期課程単位取得退学者 1 名が学位論文を提出した。

卒業論文

| | |
|---|--------|
| 高齢者の余暇活動と認知機能の関連性 ——身体活動量に着目した分析—— | 増田 裕子 |
| 情動が記憶に及ぼす影響の年齢差に関する研究 ——ポジティブティ効果に着目して—— | 宮野原 勇斗 |
| 百寿者の well-being に関する質的研究 | 安村 和子 |

博士論文

| | |
|--|------|
| 高齢者介護施設職員の有能感に関する心理学的研究 | 大庭 輝 |
| 孤独感の Aging Paradox と対処方略に関する研究 | 豊島 彩 |
| 幼児期における死の理解に関する研究 ——理由づけ質問による発達的变化の検討—— | 辻本 耐 |

3. 業績一覧

以下は、本研究室の教員、特任研究員、および大学院生による、平成27年度の業績一覧である。いずれも第一著者の姓のアルファベット順に記載されており、下線部は本研究室の構成員であることを示す。

【著書】

権藤 恭之 (2015). 生活習慣：心理面における well-being の評価 日本抗加齢医学会 専門医・指導士認定委員会 (編) アンチエイジング医学の基礎と臨床 メジカルビュー社.

佐藤 眞一 (2015). 後半生のこころの事典 CCCメディアハウス.

佐藤 眞一 (2015). 健康介護コンシェルジュ検定3級公式テキストブック 一般社団法人健康介護コンシェルジュ協会.

佐藤 眞一 (2015). 健康介護コンシェルジュ検定3級お助けハンドブック 一般社団法人健康介護コンシェルジュ協会.

【学術論文】

Congrains, A., Kamide, K., Hirose, N., Arai, Y., Oguro, R., Nakama, C., Imaizumi, Y., Kawai, T., Kusunoki, H., Yamamoto, H., Onishi-Takeya, M., Takeya, Y., Yamamoto, K., Sugimoto, K., Akasaka, H., Saitoh, S., Miura, T., Awata, N., Kato, N., Katsuya, T., Ikebe, K., Gondo, Y., & Rakugi, H. (2015). Disease-associated polymorphisms in 9p21 are not associated with extreme longevity. *Geriatrics & Gerontology International*, 15, 797-803.

権藤 恭之 (2015). 百寿者のこころ、認知から感情まで 最新精神医学, 20, 465-472.

Gondo, Y. (in press). Technology and old age in Japan. *Journal of Applied Gerontology*.

堀 麻佑子・沼田 恵太郎・中島 定彦・嶋崎 恒雄 (印刷中). 選択の自由と課題の慣れは曖昧性への選好を調整する 基礎心理学研究.

石岡 良子・権藤 恭之・増井 幸恵・中川 威・田淵 恵・小川 まどか・神出 計・池邊 一典・新井 康通・石崎 達郎・高橋 龍太郎 (2015). 仕事の複雑性と高齢期の記憶および推論能力との関連 心理学研究, 86, 219-229.

春日 彩花・土田 宣明 (印刷中). プリコンセプションから科学的概念への変容過程 教育心理学研究.

小園 麻里菜・権藤 恭之・小川 まどか・石岡 良子・増井 幸恵・中川 威・田淵 恵・立平 起子・池邊 一典・神出 計・新井 康通・石崎 達郎・高橋 龍太郎 (印刷中). 余暇活動と認知機能との関連——地域在住高齢者を対象として—— 老年社会科学.

久保田 彩 (2015). 高齢者施設の介護職員による看取りケア行動の内容検討 ——教科書の内容分析を用いて—— 生老病死の行動科学, 19, 7-20.

- Matsui, T. & Taku, K. (2016). A review of posttraumatic growth and help-seeking behavior in cancer survivors: Effects of distal and proximate culture. *Japanese Psychological Research*, 58, 142-162.
- Morris, B. J., Chen, R., Donlon, T. A., Evans, D. S., Tranah, G. J., Parimi, N., Ehret, G. B., Newton-Cheh, C., Seto, T., Willcox, D. C., Masaki, K. H., Kamide, K., Ryuno, H., Oguro, R., Nakama, C., Kabayama, M., Yamamoto, K., Sugimoto, K., Ikebe, K., Masui, Y., Arai, Y., Ishizaki, T., Gondo, Y., Rakugi, H., & Willcox, B. J. (2015). Association analysis of FOXO3 longevity variants with blood pressure and essential hypertension. *American Journal of Hypertension*. doi: 10.1093/ajh/hpv171
- 沼田 恵太郎 (2015). 高齢者の随伴性判断——連合学習の視点から—— 生老病死の行動科学, 19, 21-37.
- 大庭 輝・数井 裕光・佐藤 眞一 (2015). 介護職員における認知症に関する知識の普及度とその関連要因 高齢者のケアと行動科学 特別号, 20, 135-150.
- 大庭 輝・豊田 麻実・佐藤 眞一 (2016). 精神的健康と職場環境が介護職員の有能感に及ぼす影響 生老病死の行動科学, 20, 3-12.
- Okada, T., Ikebe, K., Kagawa, R., Inomata, C., Takeshita, H., Gondo, Y., Ishioka, Y., Okubo, H., Kamide, K., Masui, Y., Takahashi, R., Arai, Y., Thomson, W. M., & Maeda, Y. (2015). Lower protein intake mediates association between lower occlusal force and slower walking speed: From the septuagenarians, octogenarians, nonagenarians investigation with centenarians study. *Journal of the American Geriatrics Society*, 63, 2382-2387.
- 佐藤 眞一 (2015). 老年心理学の最前線 老年精神医学雑誌, 26, 77-83.
- Tabuchi, M., Nakagawa, T., Miura, A., & Gondo, Y. (2015). Generativity and interaction between the old and young: The role of perceived respect and perceived rejection. *Gerontologist*, 55, 537-547.
- Takeshita, H., Ikebe, K., Kagawa, R., Okada, T., Gondo, Y., Nakagawa, T., Ishioka, Y., Inomata, C., Tada, S., Matsuda, K., Kurushima, Y., Enoki, K., Kamide, K., Masui, Y., Takahashi, R., Arai, Y., & Maeda, Y. (2015). Association of personality traits with oral health-related quality of life independently of objective oral health status: A study of community-dwelling elderly Japanese. *Journal of Dentistry*, 43, 342-349.
- 豊島 彩・佐藤 眞一 (2016). 高齢期の社会関係の変化における孤独感のエイジングパラドクスに関する考察 生老病死の行動科学, 20, 13-23.
- Yoshinaka, M., Ikebe, K., Uota, M., Ogawa, T., Okada, T., Inomata, C., Takeshita, H., Mihara, Y., Gondo, Y., Masui, Y., Kamide, K., Arai, Y., Takahashi, R., & Maeda, Y. (2015). Age and sex differences in the taste sensitivity of young adult, young-old and old-old Japanese. *Geriatrics & Gerontology International*. doi: 10.1111/ggi.12638

【研究発表】

Cho, J., Nakagawa, T., Martin, P., Gondo, Y., Poon, L., & Hirose, N.: Functioning, personality, and caregiver burden within centenarian-caregiver dyads: A comparison between Japan and the United States. The 68th Gerontological Society of America Annual Scientific Meeting, symposium, Orland (USA), November 2015.

福崎 円香・神出 計・樺山 舞・龍野 洋慶・奈古 由美子・清重 映里・中間 千香子・小黒 亮輔・杉本 研・池邊 一典・石崎 達郎・新井 康通・榎藤 恭之・楽木 宏実: 高齢者における飲酒と血圧の関連 (SONIC 研究) 第 51 回日本循環器病予防学会学術集会, 口頭発表, 大阪, 2015 年 6 月.

Gondo, Y.: Overview about Japanese centenarian studies. International Centenarian Consortium meeting, oral presentation, Sardinia (Italy), June 2015.

Gondo, Y., Ishizaki, T., Arai, Y., Masui, Y., Ikebe, K., Kamide, K.: Findings from a large cohort epidemiologic study focus on the oldest old the SONIC study. 第 57 回日本老年医学会学術集会, International symposium, 神奈川, 2015 年 6 月.

Gondo, Y.: Developing a new successful model for super-aging society: The example of Japan. Swiss Society of Gerontology, invited talk, Fribourg (Switzerland), January 2016.

後藤 扶美香: SD 法による大学生の「老人」イメージと同義単語の評定調査 日本心理学会第 79 回大会, ポスター発表, 愛知, 2015 年 9 月.

堀 麻佑子・沼田 恵太郎・松田 ことの・嶋崎 恒雄: 意思決定に伴う後悔の発達的变化——前向きな中学生と後ろ向きな大学生—— 関西心理学会第 127 回大会, 口頭発表, 兵庫, 2015 年 11 月.

井原 一成・長谷川 千絵・大庭 輝・小島 光洋: 医学系学術誌におけるケースレポートの掲載数の調査 第 80 回日本民族衛生学会総会, ポスター発表, 青森, 2015 年 11 月.

稲垣 宏樹・榎藤 恭之・増井 幸恵・石岡 良子・中川 威・小園 麻里菜・小川 まどか・高橋 龍太郎: 地域在住高齢者における MoCA-J の 3 年間の変化に関する報告——SONIC study70 歳コホート, 80 歳コホート追跡調査の結果から—— 日本心理学会第 79 回大会, ポスター発表, 愛知, 2015 年 9 月.

石井 千恵・茅沼 弓子・芝崎 美幸・辻田 那月・大庭 輝・谷口 優: 人型ロボットを用いた運動プログラムの開発と効果に関する研究(1) 第 74 回日本公衆衛生学会総会, ポスター発表, 長崎, 2015 年 11 月.

Ishioka, Y., Gondo, Y., Kozono, M., & Nakagawa, T.: Association between work experience and cognitive function in advanced age. International Centenarian Consortium meeting, oral presentation, Sardinia (Italy), June 2015.

石岡 良子・榎藤 恭之・増井 幸恵・稲垣 宏樹・中川 威・小川 まどか・小園 麻里菜・高

- 橋 龍太郎: 中高年期における職業性ストレスと高齢期の認知機能の関連 日本心理学会第 79 回大会, ポスター発表, 愛知, 2015 年 9 月.
- Jopp, D., Nakagawa, T., Gondo, Y., Rott, C., & Oswald, F.: Life-satisfaction in Japanese and German old and very old individuals: Predictive value of social resources and psychological strengths. The 14th biannual congress of the Swiss Psychological Society, symposium, Geneva (Switzerland), September 2015.
- 神出 計・小黒 亮輔・中間 千香子・横山 世理奈・龍野 洋慶・樺山 舞・杉本 研・池邊 一典・権藤 恭之・楽木 宏実: 高齢者高血圧治療における降圧薬感受性遺伝子の関与——SONIC 研究—— 第 57 回日本老年医学会学術集会, ポスター発表, 神奈川, 2015 年 6 月.
- 茅沼 弓子・石井 千恵・辻田 那月・芝崎 美幸・大庭 輝・谷口 優: 人型ロボットを用いた運動プログラムの開発と効果に関する研究(2) 第 74 回日本公衆衛生学会総会, ポスター発表, 長崎, 2015 年 11 月.
- 小島 光洋・井原 一成・大庭 輝・吉田 英世: 高齢女性の気分プロフィールと記憶する幼少期の運動有能感 日本発育発達学会第 13 回大会, ポスター発表, 東京, 2015 年 3 月.
- 小松 丈洋・沼田 恵太郎・佐藤 暢哉・嶋崎 恒雄・八木 昭宏・宮田 洋: 不確実性がネガティブ感情に与える影響——心拍数を指標として(2)—— 第 33 回日本生理心理学会大会, ポスター発表, 大阪, 2015 年 5 月.
- Kozono, M., Gondo, Y., Ishioka, Y., & Nakagawa, T.: The relationships between leisure activities and cognitive function in Japanese centenarians who live in rural areas. International Centenarian Consortium meeting, oral presentation, Sardinia (Italy), June 2015.
- Kozono, M., Gondo, Y., & Ishioka, Y.: The relationship between leisure activities and cognitive functions among Japanese centenarians: Findings from Tottori Centenarian Study. Swiss Society of Gerontology, poster session, Fribourg (Switzerland), January 2016.
- Kozono, M., Gondo, Y., Saito, Y., & Hirose, N.: Validation of the exceptional longevity case of a 117 year old woman in Japan. 11th Supercentenarian Workshop, oral presentation, Copenhagen (Denmark), September 2015.
- Kubota, S. & Sato, S.: Perceived efficacy in end-of-life care provision among Japanese long-term care staff. The 68th Gerontological Society of America Annual Scientific Meeting, symposium, Orlando (USA), November 2015.
- 増井 幸恵・権藤 恭之・中川 威・小園 麻里菜・石岡 良子・稲垣 宏樹・池邊 一典・神出 計・新井 康通・石崎 達郎・高橋 龍太郎: 要介護度・日常生活自立度からみた 100 歳以上調査参加者の代表性の検討——SONIC100 歳非都市部データを用いた検討—— 日本老年社会科学会第 57 回大会, ポスター発表, 神奈川, 2015 年 6 月.
- 増井 幸恵・中川 威・権藤 恭之・小川 まどか・石岡 良子・小園 麻里菜・田淵 恵・高山 緑・片桐 恵子・稲垣 宏樹: 地域在住高齢者における老年的超越の縦断的変化の検討

- SONIC データを用いた前期・後期高齢者の3年間の縦断変化—— 日本心理学会第79回大会, ポスター発表, 愛知, 2015年9月.
- 増山 晃大・沼田 恵太郎: わたしの知らない素敵な「私」——関下条件づけによる潜在的抑うつ認知の変容—— 日本心理学会第79回大会, ポスター発表, 愛知, 2015年9月.
- 松井 智子: 社会に活かす健康心理学 日本健康心理学会第28回大会, シンポジウム, 東京, 2015年9月.
- 松井 智子: 大学生の心理的サポートサービスに対する援助要請行動——どのような場合に心理的サポートサービスが必要であると考えているのか?—— 日本心理学会第79回大会, 愛知, 2015年9月.
- 松井 智子・木下 寛也: 外来がん患者の心理的サポートサービスに対する援助要請行動のプロセスを構成する要因とバリア 第28回日本サイコオンコロジー学会総会, ポスター発表, 広島, 2015年9月.
- Matsui, T. & Tanimukai, H.: Associations of the future intention of using psychosocial support services with concerns and psychological distress among breast cancer patients. 17th World Congress of Psycho-Oncology, poster session, Washington, D.C. (USA), July - August 2015.
- Matsui, T. & Tanimukai, H.: The use of psychosocial support services among breast cancer patients. 17th World Congress of Psycho-Oncology, poster session, Washington, D.C. (USA), July - August 2015.
- 松井 智子・谷向 仁: 乳がん患者における心理社会的サポートサービスの利用の実態 第28回日本サイコオンコロジー学会総会, ポスター発表, 広島, 2015年9月.
- 中川 威: 高齢期における幸福感 日本老年社会学会第57回大会, 講演, 神奈川, 2015年6月.
- Nakagawa, T., Cho, J., Gondo, Y., Martin, P., Johnson, M. A., Poon, L., & Hirose, N.: Subjective well-being in centenarians: A comparison in Japan and the United States. The 68th Gerontological Society of America Annual Scientific Meeting, poster session, Orland (USA), November 2015.
- 中川 威・小園 麻里菜・権藤 恭之: 高齢期における感情の個人内変動 日本心理学会第79回大会, ポスター発表, 愛知, 2015年9月.
- Nakazato, K., Kawamura, R., & Sato, S.: Effect of continuing bonds with the deceased on bereaved families' adaptation. The 10th International Association of Gerontology and Geriatrics-Asia/Oceania Regional Congress, poster session, Chiang Mai (Thailand), October 2015.
- 中里 和弘・島田 千穂・舞鶴 史絵・野田 京・石崎 達郎・佐藤 眞一・高橋 龍太郎: 訪問看護事業所における遺族支援の現状と認識——支援の実施状況, 意義と有用性に関連する要素について—— 日本老年社会学会第57回大会, ポスター発表, 神奈川, 2015年6月.

沼田 恵太郎: 恐怖はどこへ行った?——逆行阻止の生起メカニズムに関する実験的検討—— 日本感情心理学会第 23 回大会, 口頭発表, 東京, 2015 年 6 月.

沼田 恵太郎: 恐怖はどこへ行った?——自然回復と更新効果の生起メカニズムの検討—— 日本行動分析学会第 33 回年次大会, シンポジウム, 東京, 2015 年 8 月.

沼田 恵太郎・小松 丈洋・嶋崎 恒雄・佐藤 暢哉・八木 昭宏・宮田 洋: 不確実性がネガティブ感情に与える影響——心拍数を指標として(1)—— 第 33 回日本生理心理学会大会, ポスター発表, 大阪, 2015 年 5 月.

沼田 恵太郎・宮田 洋: 条件反応とその評価——皮膚電気条件づけ事象を用いた場合—— 関西心理学会第 127 回大会, 口頭発表, 兵庫, 2015 年 11 月.

大庭 輝・藤田 雄・蓮池 沙緒里・星 光子・宮 裕昭・梨谷 竜也: これは使える! 認知症臨床 日本心理臨床学会第 34 回大会, 自主シンポジウム, 兵庫, 2015 年 9 月.

大庭 輝・石井 千恵・茅沼 弓子・谷口 優: 人型ロボットを用いた運動プログラムの開発と効果に関する研究(3) 第 74 回日本公衆衛生学会総会, ポスター発表, 長崎, 2015 年 11 月.

大庭 輝・佐藤 眞一: 介護職員の有能感に影響を与える要因 日本心理学会第 79 回大会, ポスター発表, 愛知, 2015 年 9 月.

Oba H. & Sato S.: Association between competence and emotional strain in care workers. The 10th International Association of Gerontology and Geriatrics-Asia/Oceania Regional Congress, poster session, Chiang Mai (Thailand), October 2015.

大庭 輝・佐藤 眞一: 研修参加による介護職員の有能感の変化 日本老年行動科学会第 18 回大会, 口頭発表, 宮城, 2015 年 11 月.

Oba H., Yoshida H., Suzuki Y., Suzuki Y., Ishijima H., Kitabatake Y., & Ihara K.: Knowledge and assessment skills of depressive symptoms among the staff of community integrated support centers. The 15th Congress of International Federation for Psychiatric Epidemiology, poster session, Bergen (Norway), October 2015.

Ryuno, H., Kamide, K., Gondo, Y., Nakama, C., Oguro, R., Kabayama, M., Ikebe, K., Masui, M., Inagaki, H., Ishizaki, T., Arai, Y., & Rakugi, H.: Effects of anti-hypertensive medication on cognitive function in older subjects: The SONIC study. The International Association of Gerontology and Geriatrics European Region 8th Congress, poster session, Dublin (Ireland), April 2015.

Ryuno, H., Kamide, K., Gondo, Y., Oguro, R., Nakama, C., Ikebe, K., Masui, Y., Ishizaki, T., Arai, Y., & Rakugi, H.: Association between hypertension and cognitive function in age 70 and 80 years from Japanese SONIC study. The International Association of Gerontology and Geriatrics European Region 8th Congress, poster session, Dublin (Ireland), April 2015.

龍野 洋慶・神出 計・榎藤 恭之・小黒 亮輔・中間 千香子・横山 世理奈・中川 威・樺山

- 舞・杉本 研・池邊 一典・新井 康通・増井 幸恵・石崎 達郎・楽木 宏実: 高齢者における高血圧と認知機能との関連——服薬アドヒアランスの影響: SONIC 研究—— 第51回日本循環器病予防学会学術集会, 口頭発表, 大阪, 2015年6月.
- 佐藤 眞一: 超高齢社会におけるアクション・リサーチの可能性 日本心理学会第79回大会, シンポジウム, 愛知, 2015年9月.
- 佐藤 眞一: 学習支援研究がひらく豊かな生涯 (2) 日本心理学会第79回大会, シンポジウム, 愛知, 2015年9月.
- 島内 晶・佐藤 眞一・西村 昭徳: 記憶の衰え自覚尺度についての検討——メタ記憶における記憶の自信度尺度 (MSSC) との関連性について—— 日本心理学会第79回大会, ポスター発表, 愛知, 2015年9月.
- Toyoshima, A., Lee, K., Martin, P., Sato, S., & Poon, L.: The influence of personality on retirement evaluation, social resources, and loneliness in later life. The 68th Gerontological Society of America Annual Scientific Meeting, poster session, Orlando (USA), November 2015.
- Toyoshima, A., Martin, P., Sato, S., & Poon, L.: The impact of visual function on subjective well-being among centenarians. International Centenarian Consortium meeting, oral presentation, Sardinia (Italy), June 2015.
- Toyoshima, A., Martin, P., Sato, S., & Poon, L.: The influence of vision function and social support on well-being among oldest-old adults: Findings from the Georgia Centenarian Study. The 68th Gerontological Society of America Annual Scientific Meeting, oral presentation, Orlando (USA), November 2015.
- 豊島 彩・佐藤 眞一・野内 類・川島 大輔・高野 裕治・安藤 孝敏: 高齢者研究——生涯発達心理学への回帰—— 日本心理学会第79回大会, シンポジウム, 愛知, 2015年9月.
- 上野 大介・増本 康平・佐藤 眞一・榎藤 恭之: 情動を喚起する画像 (IAPS) の評価に関する年齢差——情動価ごとの覚醒度に関する年齢差の検討—— 日本心理学会第79回大会, ポスター発表, 愛知, 2015年9月.

【その他】

- 小園 麻里菜・榎藤 恭之・石岡 良子 (2015). 超高齢者生活実態調査——鳥取県鳥取市——報告書 鳥取市役所.
- 小園 麻里菜・榎藤 恭之・石岡 良子 (2015). 超高齢者生活実態調査——鳥取県鳥取市——市民啓発用リーフレット 鳥取市役所.
- 小園 麻里菜・榎藤 恭之・石岡 良子 (2015). 超高齢者生活実態調査——京都府京丹後市——報告書 京丹後市役所.
- 小園 麻里菜・榎藤 恭之・石岡 良子 (2015). 百寿者調査の結果 百歳健康長寿の秘けつ集 京丹後市役所.
- 増井 幸恵・榎藤 恭之・中川 威・稲垣 宏樹・高山 緑 (2015). 後期高齢者の精神的健康に

- 及ぼす老年的超越の影響の縦断的検討——ネガティブイベントの悪影響に対する緩衝効果の検討—— 公益財団法人明治安田こころの健康財団研究助成論文集, 50, 168-175.
- 増井 幸恵・池邊 一典・石崎 達郎・榎藤 恭之・神出 計・新井 康通 (2015). 訪問調査による 80 歳群追跡会場調査未受診者の身体機能および精神的健康の検討. 厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「70 歳、80 歳、90 歳の高齢者の歯・口腔の状態が健康長寿に及ぼす影響についての前向きコホート研究」報告書, 35-47.
- 佐藤 眞一 (2015). がん患者の心理評価・サポートシステム開発・テキスト作成に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金・がん対策推進総合研究事業（がん政策研究推進事業）『在宅がん患者の栄養サポートに精通した在宅医療福祉従事者の全国的育成システムの開発』平成 26 年度総括・分担研究報告書, 13-14.
- 佐藤 眞一・大庭 輝・新田 慈子 (2015). 3 ステップで理解する認知症 相談・対応のポイント 大阪府.
- 豊島 彩・佐藤 眞一 (2015). 高齢視覚障害者の孤独とその適応過程——理論モデルの構築と心理的支援の提案—— 2013 年度ユニバーサル財団調査研究報告書 豊かな高齢社会の探求, 23, 135.
- 米田 英嗣・中川 威 (印刷中). 日本発達心理学会 2015 年度 国際ワークショップ・公開講演会報告, 発達科学.